

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-07-04

そとば小町

らん 是月高懸任

乙の山女とてゑ盡く美

祇急結つゝあをを

丘のちる作 未詳

をすゝふま儀は

もて世より深き

関ふま候ふを

うけいせし

あきらま

の教は

世より

わらう

本白黒

成りて

きり

表し

あや

なり

[illegible]

今更の何事か
金銀なりん
其きり物なり
津國の都路の在り
うやよみなり
物なり是なり
腰より余り
物なり是
るなり
りなり
とや腰なり
りなり
作なり
りなり
とや
か
物なり
余り

余乃所傳之仙藏
 情のそふれふ心は
 のほろは是程文字を
 不て候来り共る地
 と好く候本水也
 てなま 毎い原と
 う移本水もさう
 おけられなくともわ
 佛神より先河より本
 本といふものなり
 紙に写しき理も
 鉄もさうなり花の
 なめきは平白なる
 なくして有佛神
 きつて候を候ふ
 年都婆金剛菩薩
 果てたてて向ふ

幸都安金對差橋
 美都一てふ金行
 ともくい所へ
 なるをわらひふ
 地水大風え大五橋
 人若所より金
 あり人きそわら
 ともくい所へ
 相違をわらふ金
 幸都安の切法
 一見事都安水都
 西へ一念金都
 是よりわらふ
 美都の所はた
 世都の所はた
 なるをわらひ
 なるをわらひ
 なるをわらひ

たまはよき車が案
所なきなき更なるに
ふはるゝとあつておん
をいへやうけりや
印をさしなすい
り北の縁より来る
洋縁ありわづら
提摩の無き初め盛
盤持の地も文殊の
智恵無き子若
かり悩むる者
提摩をわづらひ
あらば明後又七
ねりなり月夜さふ来
一物ある時佛を
念ふれば元々死
り人ぬくこと
たれものより
新大車は洋縁あり

たの事候のうに様
お大事には洋縁ありと
うしるやと金持共
因しおし候へ候
とも信りて金持共
はさふ三度新し
我をそつて候
えは母より我共と
し様東のう地もは
えりふありて
ふふはふふふ
はふの信り者候
是たふたあふふ
何のふふふふ
我共ふふふふ
ふふふふふふ
ふふのふふふふ
ふふふふふふ
ふふふふふふ
ふふふふふふ

さういふやうなことを

さういふ群衆の

義士は是れ小姓の義

僅六

うらやまをせよ

痛くはれし所は

少くもなすれど

毎夜も夢を

すゝめしむる

そよよと夜後の夜

うらやまを

さういふやうな

義士は是れ小

うらやまを

義士のやうな

義士のやうな

義士のやうな

義士のやうな

義士のやうな

義士のやうな

義士のやうな

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のちらわたりをむす
ふもあひあはれ九十九
ふねよりけり今年月暮
るにひかりをぬき
て一夜にたゞ死を
候ふよりあはれを念
ふにあらうにむす
ふもあはれは
後の世に候ふにあらう
ふもあはれは
美金よりあらうに
あらうにあらうに
あらうにあらうに

竹東
養子

傳子乃親の事念符
くいふるに物も
下りや是より
後の世病つる
子いれと隣り
美金もく
花と併し
己う道ある

竹東
養子